

北海道浮魚ニュース

平成12(2000)年度23号 (通巻 No.93)

2000年10月31日

北海道立中央水産試験場	Tel :0135-23-8707	Fax :0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel :0154-23-6221	Fax :0154-23-6225
函館水産試験場	Tel :0138-57-5998	Fax :0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel :0162-32-7177	Fax :0162-32-7171
網走水産試験場	Tel :0152-43-4591	Fax :0152-43-4593

道東太平洋サンマ・マサバ漁期後調査結果

道東沖のサンマ漁はほぼ終了，サバは昨年より多い

北辰丸（釧路水産試験場調査船）によって行われたサンマ漁期後調査の結果をお知らせします。

調査期間：2000年10月23日～27日

調査海域（図1）：道東太平洋（北緯41度55分～42度40分，東経144度10分～145度30分）

調査方法：9種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験とタモまたは釣りによる漁獲試験

表面水温（表1）

調査海域の表面水温は 9.0 ～ 12.2 で、昨年と比較すると、ほぼ同じもしくはやや低かった。

漁獲尾数（表1）

流し網によるサンマの漁獲尾数は 404 尾で、昨年(38 尾)より多かった。調査1回流し網1反あたりの漁獲尾数は 14.4 尾で、昨年(1.4 尾)を大幅に上回った（ただし、目合 22,25,29,37,48mm の漁獲尾数で比較）。

流し網によるサバ類の漁獲尾数は 41 尾で、昨年（1尾）より多かった。

流し網によるカタクチイワシの漁獲尾数は、3,227 尾と昨年同様多かった。また、昨年みられなかったマイワシが、今年は 147 尾漁獲された。

体長組成（図2，図3）

流し網で漁獲されたサンマの大きさは、調査点によって異なっていた。ST.7では中型と小型魚が主体に、ST.5では大型と中型魚が主体に漁獲され、ST.7よりも大きかった。

漁獲されたサバ類の体長範囲は 17 ～ 24cm で、モードは 22cm であった。

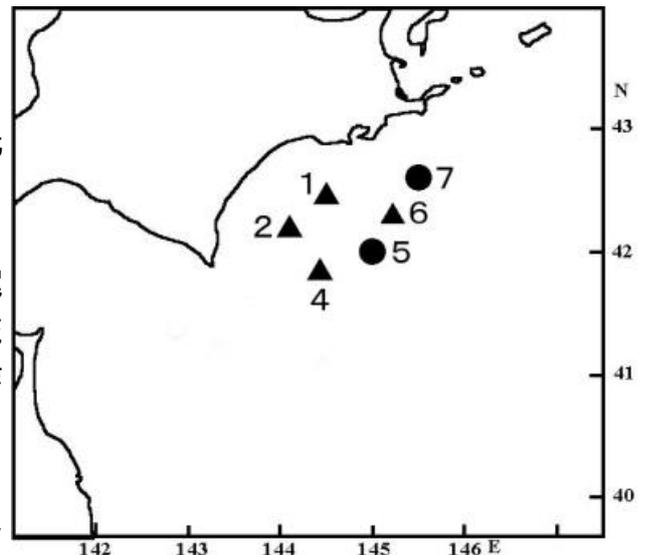


図1 調査点図

（漁獲調査及び海洋観測点，海洋観測点）

今回の調査で、サンマは昨年より多く漁獲されたものの、魚体が小型化しているため、10月末には道東沖のサンマ漁はほぼ終了し、主漁場は三陸沖に移るでしょう。

表1 サンマ・マサバ漁期後調査結果（漁獲尾数は流し網による）

ST		1	2	4	5	6	7	
揚網・観測日		10.27	10.25	10.25	10.25	10.24	10.24	
位置	北緯	42-30	42-10	41-55	42-00	42-20	42-40	
	東経	144-30	144-10	144-25	145-00	145-15	145-30	
水温 ()	0m	11.3	12.2	12.1	10.3	11.3	9.0	
	50m	10.7	7.2	7.0	5.6	3.5	6.9	
	100m	7.1	7.5	2.9	1.4	2.1	1.6	合計
サンマ漁獲尾数					30		374	404
サバ類漁獲尾数					41		0	41
その他	マイヅ				137		10	147
	カクヰヰ				3,053		174	3,227
	ルメイカ				2		90	92
	アカカ				17		26	43

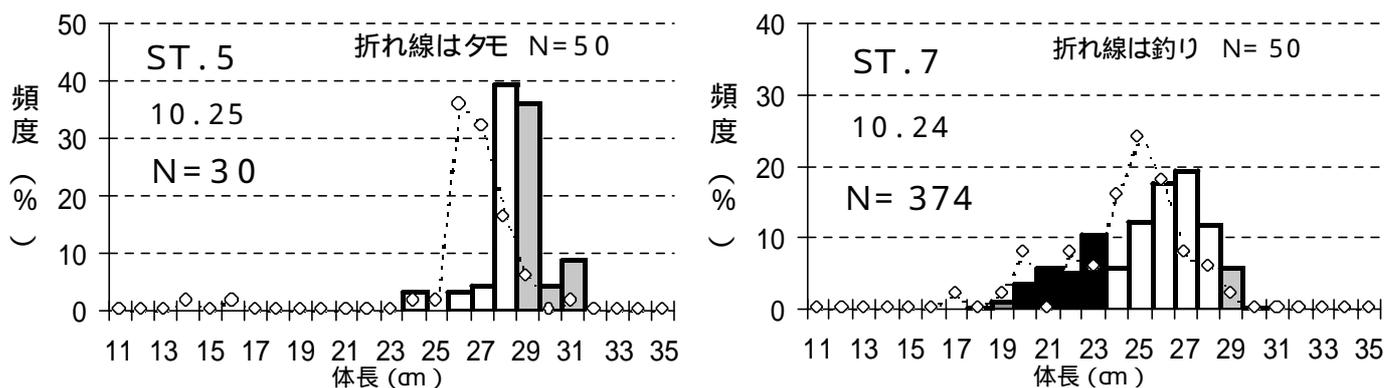


図2 流し網・タモ・釣りで漁獲されたサンマの体長組成（Nは漁獲尾数）

■ :大型魚 :29~ 32cm □ :中型魚 :24~ 29cm ● :小型魚 :20~ 24cm

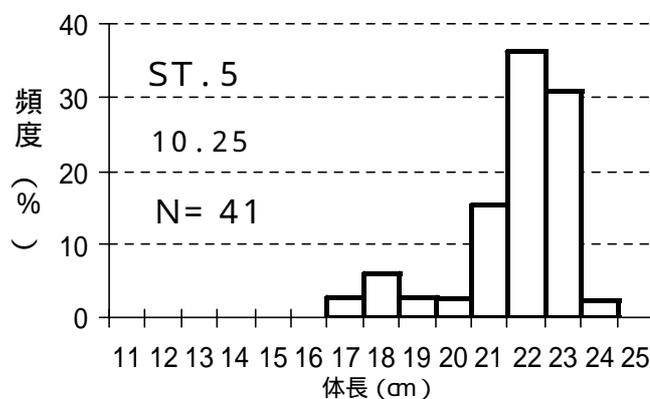


図3 流し網で漁獲されたサバ類の体長組成（Nは漁獲尾数）

（文責 釧路水産試験場資源管理部）
直通電話 0154-23-6222